



特集

「担い手直送規格」の 取り組みについて



季節のエッセー いわての 野草

文・澤口 たまみ
絵・永澤 美貴子

「ヒメオドリコソウ」 (シソ科)

いやはや、たいへんなお姫さまである。
故郷はヨーロッパ。明治時代に日本にやって来た。
遠い国で、さぞ心細く暮らしていることだろう、
などと同情するには及ばない。
今や在来植物の姿はなく、いたるところに
群落を作っている。
しかし帰化植物は、輸入品に種子が混入していたり、
何らかの目的で外国から移入されたりと、
すべて人為的に運ばれて来て、
野生化したものである。
勝手に連れて来られて雑草よばわりされたのでは、
迷惑しているのは、きっと彼らの方に違いない。
しかも、植物の世界もなかなか生存競争が厳しく、
より勢力の強い帰化植物が入って来たりすると、
たちまちそれにとって代わられてしまう。
このお姫さまの天下がいつまで続くのか、
私としては興味津々なのである。

参考資料：澤口たまみ著『岩手の野草百科』(岩手日報社 平成18年4月20日 第7版発行)より

純情産地発 **KLARA** vol.826 05
クララ 2018

タイトルのKlara (クララ) は、宮沢賢治の手帳に記されている言葉で、スペイン語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

純情産地いわて
30th
みんなていわての未来を育もう。

contents

季節のエッセー いわての野草	02	報告! 出向く活動班	07
特集 「担い手直送規格」の取り組みについて	03	純情むすめ活動記	08
みんなの分教場	06	純情人 新入職員編	09
		ニュースワイドアングル	10

特集 — 「担い手直送規格」の取り組みについて

■担い手直送規格の拡大推移 (H30.4月時点)

担い手直送規格	H30年	H29年	増加率
品目数(品目・剤型)	24	9	267%
使用面積(ha)	3,561	659	540%



■担い手直送規格の品目

【水稲初中期一発除草剤】

No.	品名と有効成分	規格	面積換算	No.	品名と有効成分	規格	面積換算
1	デルタアタック1キロ粒剤	50kg	5ha	14	コメット1キロ粒剤	30kg	3ha
2	パッチリL X1キロ粒剤	50kg	5ha	15	アップレZ1キロ粒剤	50kg	5ha
3	クサカリテイオー1キロ粒剤75	40kg	4ha	16	ガンガン豆つぶ250	10kg	4ha
4	ナギナタ豆つぶ250	10kg	4ha	17	ベンケイ豆つぶ250	10kg	4ha
5	コメット顆粒	4kg	5ha	18	トップガン250G	10kg	4ha
6	エーワン1キロ粒剤	(20kg×2)	4ha	19	ベンケイ1キロ粒剤	40kg	4ha
7	ガンガン1キロ粒剤	40kg	4ha	20	トップガンGT1キロ粒剤75	40kg	4ha
8	ジェイフレンド1キロ粒剤	50kg	5ha	【水稲箱処理剤】			
9	ウィナー1キロ粒剤75	(20kg×2)	4ha	No.	品名と有効成分	規格	面積換算
10	カチボシ1キロ粒剤75	(20kg×2)	4ha	21	アプライフエルテラ粒	200kg	20ha
11	ワイドショット1キロ粒剤	(20kg×2)	4ha	22	Dr. オリゼプリンススピノ粒6	(20kg×2)	4ha
12	ブイゴールSM1キロ粒剤	(20kg×2)	4ha	23	Dr. オリゼパディート粒	(20kg×2)	4ha
13	シリウスエグザ1キロ粒剤	30kg	3ha	24	ファーストオリゼパディート粒	(20kg×2)	4ha

※色ぬりの品目が新たに「担い手直送規格」に追加された農薬

本会農業事業における生産資材費削減の取り組みとして、今後も「担い手直送規格」の品目拡大を行っていくほか、「ジェネリック農薬」の開発を進めて行くことにより、生産者に満足いただける生産資材価格を実現します。また、農業生産の基盤を担う集落営農組織や法人等、大規模経営体のニーズに対応するため、JAと一体となつて生産コスト削減に貢献する取り組みを強化していきます。

4. おわりに

ア. 小分けでの販売はできません。
 イ. 完全受注生産のため、返品はできません。
 ウ. 専用注文書による期間限定の受注・配送となります。
 ※ご不明な点は、最寄りのJAにお問い合わせをお願いします。

3. 「担い手直送規格」の注文中の注意点



担い手規格農薬の農家説明会

1. 「担い手直送規格」について
 本会では、生産者の農業コスト低減を目指し、大型規格よりも更に大きな「担い手直送規格」を開発し、年々その取り扱いを拡大しています。
 「担い手直送規格」はスケールメリットに加えて、完全受注生産、メーカーからの直送配送など徹底した物流コストの削減により、価格引き下げを可能にした特別規格となっております。
 「担い手直送規格」には統一ロゴである「メガ得」マークをつけています。

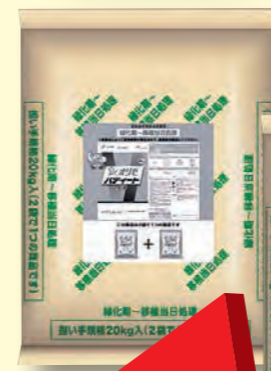
担い手直送規格のスケールメリット



50倍



この商品は2袋で1つの商品です。



40倍



40倍



「農家手取り最大化」の 取り組み

(実施期間 平成28~30年度)



資材部 営農技術課
技術主管
小菅 裕明

今年「1月号」に続き、農家の手取り最大化に資することを目的に、本会とモデル2JA・11経営体(全国では55JA・79経営体)のプロジェクトが取り組むトータル生産コスト削減に向けた実践メニューから、「高密度播種苗移植栽培(乳苗移植)」及び「鉄コーティング湛水直播栽培」の特徴と推進の取り組みを紹介いたします。

◇高密度播種苗移植栽培(乳苗移植)

この栽培法は、育苗箱当たりの乾物播種量を200g以上、育苗期間は20日程度に短縮し、田植機の苗かきとり量を減らし、移植することで、育苗箱数を大きく減らすことが可能です。

また、従来(中苗)に比べ若齢苗による出穂の遅れがある反面、稲作大規模経営体では、中苗移植や直播栽培との組み合わせによる作業分散、そして規模拡大に有効です。

本会では、「高密度播種のススメ(A3版)」を作成して、その普及を推進しています。

高密度播種のススメ

JA全農いわたて資材部営農技術課

水稲移植の課題は、大規模経営では育苗ハウスが不足(育苗ハウスは高価)、育苗期間が長い(育苗期間が長いと生育が揃わない)、高コストによる収益低下(育苗期間が長いと生育が揃わない)などです。

これら課題の解決は、高密度播種による育苗期間短縮、育苗期間短縮による生育の揃い、高コスト削減による収益向上(育苗期間が短いと生育が揃い)などです。

新技術解決策は高密度播種

高密度播種とは、育苗期間を短縮し、育苗期間短縮による生育の揃い、高コスト削減による収益向上(育苗期間が短いと生育が揃い)などです。

おススメは、所有する田植機で移植可能な播種量と播種機設定

問合せ先: JA全農いわたて資材部営農技術課 (TEL: 019-638-6982)

◇鉄コーティング湛水直播栽培

本県の29年産水稲直播栽培面積は1308haであり、うち湛水栽培が1217ha(直播全体の93%)で、その96%が鉄コーティング種子を使用しています。

この鉄コーティング種子の使用は、保存期間が長く、農閑期にその作業が可能(ことや、鳥害にも強い等)から全国的に最も普及が進んでいる栽培法となっています。

本会では、鉄コーティング種子の加工には、新たな設備導入や安定した加工技術が必要となることから、担い手における新たな設備投資抑制と

鉄コーティング種子を用いた 水稲の直播栽培 マニュアル2018

2018年1月
全国農業協同組合連合会

発行: JA全農 (HPを参照下さい。)

◇参考: コメ生産費低減のポイント

平成29年度岩手県農業研究センター農業経営研究室の成果では、岩手県における先進的稲作経営の生産費を算出し、その取組実態からみた米生産費低減のポイントを整理・紹介しています。(HPより引用)

10kg当たりの生産費	変動費	疎植栽培による種苗・諸材料(培土)費の低減、側条施肥、補給型施肥、減農薬等による農薬・肥料投入量削減、大口割引・共同購入、直接仕入・入札等による調達価格の低減等
	固定費	機械の稼働面積向上(麦・大豆・飼料用米等を含めた機械の汎用利用、複数の水稲品種の組合せによる作期拡大、機械の共同利用等)、機械の長期利用、調達価格の低減(中古機械利用、補助事業活用等)
	労働費(労働時間)	農地を面的集積したうえで基幹作業は高性能機械で行い、機械化による作業効率化が困難な草刈り・水管理は外部に委託、直播栽培の導入等
60kg当たりの生産費		上記を行ったうえで、一定以上の単収確保も必要
その他		農地の面的集積や地代の引き下げ、草刈り・水管理の外部化の実現に向け、農用地利用調整組織、地域営農組織等を通じた農家、地権者との協調関係の構築等も重要

一定品質の種子を提供するため、30年産用種子から取り扱いは始めました。

今後の収量向上のポイントとして、①圃場の均平化、②最低播種量の確保(乾粉/4kg)、③播種・湛水後、一定期間の落水による目標苗立ち量の確保、④初期除草剤+初中期一発処理除草剤の2回体系、⑤鉄コーティング専用肥料の施用等が重要ですので、現地営農指導や栽培マニュアル等に留意をお願いします。

生産者と共に奮闘する担い手サポートセンターの活動をレポート

報告! 出向活動班



今回の報告者
担い手サポートセンター
出向活動班
菊池 規

岩手の6次産業化を応援 「第12回JAグループ国産農畜産物商談会へ出品」

本県から「TACの店」で8団体が出展
去る3月14日(水)~15日(木)の2日間、東京・有楽町の「東京国際フォーラム」で第12回JAグループ国産農畜産物商談会が開催され、本県より8団体が「TACの店」で出展し、自慢の6次化商品を出品しました。商談会は、販路拡大と農家の手取り向上を目的にJA全農とJAバンクが主催、農林水産省が後援し、毎年開催されております。今年度は各業界から5244名(前年比101%)のバイヤーが会場を訪れ、商談を行いました。

本県からの出展者と出品商品は 次の通り

- ① たんたん堂/旬ファーム昔久x(株)千秋堂 (JA新いわて) : 愛彩ひとめぼれゆべし、米粉サブレ、みるくボール。
- ② 農事組合法人となん/株兼平製麺所 (JAいわて中央) : ノングルテン純米めん、純米冷めん、純米じゃじゃめん、純米ひつつみ、純米温めん。
- ③ 農事組合法人FS・クルー (JAいわて中央) : ゆきちからめん、ゆきちかららーめ



愛彩ひとめぼれゆべし



ノングルテン純米めん



ゆきちからめん



からだよろこぶ発芽玄米と9種雑穀のごはん



岩手早池峰のむヨーグルト



遠野どぶろく



岩手ふるさと田楽味噌



米粉ばすたdeシリアル



サンピル「純情ショップ」で販売中



プロ農夢花巻事業本部のブース

右から「ひころいちファーム」村上代表、野田総務相、IBC風見アナウンサー

- ④ (株)JAグリーンサービスタ 花巻事業本部 (JAいわて花巻) : プロ農夢よろこぶ発芽玄米と9種雑穀のごはん、岩手産十二穀(賢治の食卓)、はとむぎ茶、雑穀粉(黒米粉)。
- ⑤ (株)JAグリーンサービスタ ハヤチネフーズ事業本部 (JAいわて花巻) : 岩手早池峰のむヨーグルト、岩手早池峰林檎ジュース、岩手早池峰葡萄ジュース、プレミアム
- ⑥ 農事組合法人宮守川上流生産組合 (JAいわて花巻) : 遠野どぶろく、県産原料ジューズ各種(トマト、ニンジンなど)。
- ⑦ JA岩手ふるさと : 田楽味噌、業務用オリジナルドレッシング、はと麦茶、前沢牛入りフランクソーセージ、金芽米ひとめぼれ。
- ⑧ ひころいちファーム (JAおおふなど) : 米粉ばすたdeシリアル、米粉ばすたスナック、米粉ばすた。

純情1x2x3
IBC岩手放送じゃじゃやTV内のいわて6次産業化を応援「純情1x2x3」のコーナーで開発した「米粉ばすたdeシリアル」も「ひころいちファーム」(JAおおふなど)のブースで出品し、IBC岩手放送の風見好栄アナウンサーも商談の応援に会場まで駆けつけてくれました。

「米粉ばすたdeシリアル」は、(株)Aコープ北東北10店舗、JAおおふなど各支店及びおおふなどSS・せたまいSS、サン・フレッシュ都南で販売中です。

商談件数は108件

本県「TACの店」8ブースの商談件数は108件となりましたが、成約に向け各出展者が商談先と交渉を行ってあります。本県出展者の皆さんから商談会について伺ったところ、「全国のJAグループから各産地の農畜産物や加工品が出品され、商品に信頼性があることから、いいものを探しに来るバイヤーが多いのではないか」、「他の商談会よりもバイヤーの質が良く、商談件数も多い」との評価を頂きました。

来年も販路拡大と農家手取り向上のため、商談会を通して6次産業化の支援に取り組みたいと思います。

また、今回出品した6次化商品は、県内それぞれの地域の産直やスーパー等でも販売しておりますので、是非お買い求めください。



よしだ なお
吉田 奈央
【管理部 総務人事課】

- 北上市
- 趣味:映画鑑賞
特技:嫌な事をすぐに忘れることができる
- 「あきらめたらそこで試合終了ですよ」(スラムダンクの安西先生のこの言葉に試験期間中何度も励まされました)
- 入会する前は全農は、「農業の指導をする人たち」というイメージで営農指導員のイメージが強くありましたが、入会してから様々な事業内容があることを知り、全農職員の方々の明るい人柄にもふれ、今後の仕事を楽しみにしています。
- 日々勉強しながら、明るく元気に頑張ります!不慮者ですが、ご指導よろしくお願い致します。



いとがわ あやみ
井戸川 文美
【管理部 総合企画課】

- 福島県南相馬市
- 音楽を聞くこと、歌うこと、食べることや寝ることが好きです。大学では美術を専攻していたので、絵を描くのが得意です。
- 「おつかれ様です」言ってもらえると疲れが少し和らぐ気がするからです。
- 農業を支える業界の、トップや中心に位置しているイメージを持っていました。幅広い事業で農家の方や組合の方を支えることができるので、必要不可欠な存在であると思います。その分責任が大きくなるので、気合いを入れて入会しなければと感じました。
- 社会人として責任ある行動をするように心がけたり、分からないことは積極的に質問したりしていきたいです。また、職場の皆さんや農家の方、組合の方々々とたくさん交流していきたいと思っています。よろしくお願いします。



JA全農いわての
純情人 新入職員編
じゅん じょう びと

入会后、約1か月間のJA研修を終え、それぞれの部署へ配属されました。今年度、この10人が新たに仲間入りしました!!

- 出身地
- 趣味・特技
- 好きな言葉
- 入会前、感じていた「全農」のイメージは?
- 社会人としての意気込み



ふじむら ありさ
藤村 有沙
【畜産酪農部 家畜市場課】

- 八幡平市
- アルペンスキー、スノーボード、読書、旅行、温泉巡り
- 「動かさずもの食べからず」
沢山働いて、沢山美味しいものを食べる。美味しいご飯の為に頑張ろうと思わせてくれる言葉です。それが幸せだと私は思っています。
- 農業に関する事業をしていることは知っていましたが、具体的な事業内容や多岐に渡るサービスに驚きました。特に一番入会前の印象として残っているのは生産者と消費者を繋ぐ架け橋というイメージが強いことです。
- まだまだ未熟な部分がありますが、組合員の方の、岩手の農業、日本の農業の為に尽力し、沢山の方に喜びをお届けできるよう気取って一生懸命頑張ります。よろしくお願い致します。



いけだ ともき
池田 知生
【畜産酪農部 生産指導課】

- 宮崎市
- 料理、野球、音楽を聞くこと。
- 「自分に厳しく、人に優しく」
①努力すること、やらなければならないことに対して妥協しないということ。②人と接するときには思いやりをもって接するべしという2点を同時に思い出させてくれ、自分を律する時や、何が嫌になったときに常に自分に問いかけ、立ち回らせてくれた言葉だから。
- 名前の通り、米や野菜、肉などの畜産産物扱う組織というイメージで、肥料や飼料、石油など、流通に関わるあらゆるものに関わる組織というイメージでしたが、正直な所、具体的な仕事内容は存じ上げませんでした。
- 配属された畜産酪農部で、畜産に関わる農家さんに、「この人でなければ」と言っている人材を目指して精一杯がんばります。



くし あい
久慈 葵
【園芸部 花き・資材課】

- 盛岡市
- ソフトテニス、温泉旅行、映画鑑賞です。
- 「It's never too late」
サッカー日本代表の本田選手が言っていました。何事も行動する上で遅すぎる事はないと思いますし、ゆったりしている自分にはビクビクだと思っています。
- エリート集団だと思っていましたし、先輩方は農業関係に対してのプロフェッショナルだと思っています。まさか自分が入会させて頂けるとは思いませんでしたが、全力で頑張ります。いつか先輩方のような職員になりたいと思います。後は、石川佳純さんとのんさんのイメージが強かったので、いつか会いたいです。
- 1年目は、とにかく元気よく、貪欲にたくさん仕事を吸収したいです。マナー等の人間力も高めて、先輩に可愛がって頂き、取引先の方とも良好な関係を築く力を身に付ける事を目標に、日々頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



きくち たくや
菊池 拓哉
【園芸部 生産販売課】

- 住田町
- バスケットボール、ランニング、タロット占い
- 「苦しんだだけが喜びを与えられる」
今が苦しんでも最後に幸せが待っていると思うと、今を頑張れるから。
- 入会前は全農に対して、消費者のために日本の食の安心、安全を支えているイメージを感じていました。そのイメージは入会后も変わらないのはもちろん、そして、農家さん、JAの方々と共に助け合い、農業をより良くしていくという協力の精神の大切さを知ること出来ました。
- 周りの先輩職員の方々にには迷惑をかけてしまうと思いますが、少しでも早く一人前の全農職員として認めて頂けるように頑張ります。



しのざわ こうへい
篠沢 航平
【本所 生産資材部 東北広域施設事業所】

- 盛岡市
- バク転、バスタ作り
- 「今日は残りの人生の最初の1日」
こう思うことで、今日という1日を大切に過ごせるからです。
- 食べ物ー農業ー田園風景ー平和という流れで、「食べ物」と「平和」というイメージを持っていました。
- まだ右も左も分からないので、仕事をほとんど吸収して期待の新人になれるように頑張ります。趣味のバスタ作りは、まだ趣味といえるほど上達していないので、胸を張って言うようにそちらも頑張ります。



たかむら せいや
高村 聖弥
【農機事業部 農業機械課】

- 盛岡市
- 歌を歌うこと、スノーボード
- 「仲間」
仲間は大切なものだし、助け合うことができるから。
- 農家さんと共に、岩手の農業の発展に向けて仕事に取り組んでいるイメージ。
- JAは農家による農家のための組織であるから、農家の方のために喜んでもらえるように頑張りたい。



やまもと ゆうの
山本 優乃
【資材部 営農技術課】

- 岐阜県各務原市
- 趣味:ディズニーランドに行くこと。映画を見ること。SNSでディズニーの写真を撮ること。
- 「部下照顧(きやっかしようこ)」
常に自分を顧みること、自分の成長につなげたいと思います。
- 入会前は、本当にほんやりとしたイメージしかなく、地域にあるJAの親みたいなものかと思っていました。就職活動を通して、全農の理念や協同組合の意義などを学び、利益を追求するだけではない仕事に興味と共感を覚えました。
- 未熟な私ですが、一日でも早く一人前の社会人になれるよう、精進努力していきたいと思っています。よろしくお願い致します!



ほその ゆうたろう
細野 雄太郎
【資材部 肥料資材課】

- 盛岡市
- バレーボール、温泉、スポーツ観戦、フードファイト、旅行
- 「不断の努力」
私は飽き性なところがあるので、継続することの困難さを一層感じるのであります。
- 私が入会前に抱いていた全農のイメージは、農学部などの理系の学部出身の方々が多くいらっしゃるのかなと思っていました。しかし、実際は文学部や経済学部出身の方もいて、一概に理系だけという印象はありませんでした。様々な専攻の方がおり、色々学ばせて頂いて楽しんでいます。
- 大学まで運動部に所属していたので、普通の人は体力と忍耐力には自信があります。しかしながら、ビジネスマナーやその他色々な点において至らないこともあるかと思っています。その点に関しては厳しく指導してもらいながら成長していきたいと思っています。元氣だけが取り柄ですが、よろしくお願い致します。



笑顔が
はじける

純情むすめ
活動記

「県産食材で岩手の復興を!」



2017いわて純情むすめ
木村 愛

3月11日(日)に、盛岡市産業会館1階で行われた「三陸食のおふるまい2018」に参加し、東日本大震災の復興応援活動を行いました。JAいわてグループは、東日本大震災を風化させないため、毎年3月11日に、復興応援活動を行っているということ、震災から7年が経った今年も実施し、応援隊の一人として私も参加させていただきました。

今回は、県オリジナル水稲品種の「金色の風」といわて純情豚の焼き肉、そして私の出身地でもある「山田町産の力キ」を使った力キ汁のお振る舞いを、それぞれ先着200名様に、「三陸産アカモク」と「たたくめかぶ」で作られた「ふだいのねばり」を先着100名様にプレゼントしました。「金色の風」を召し上がった多くのお客様からは、「普段食えるお米より甘みがあつておいしい」という感想



を頂きました。また、力キ汁を召し上がったお客様は、「こんなに大振りな力キは初めて見た。」と驚きながら、美味しい力キ汁で身体を温めていました。お振る舞いはどれも大盛況で、たくさんの方に三陸や岩手の美味しさを広めることができ嬉しく思いました。

今回のイベントは岩手県の食品をお客様に伝えるだけでなく、食を通して震災の記憶を伝え、防災意識を多くの方に広めることを目的としています。私は、震災当時から復興の様子を見てきて、街の様子は少しずつながら復興してきているように感じています。ただそれと同時に、震災から7年が経ち震災の記憶が薄れてきていることも感じます。今回のイベントが今後も続き、一年に一度は



震災のことを振り返り、これからの生活で自分たちができる対策について考える機会を作っていくことが出来ればよいと考えています。

残り一ヶ月の任期ですが、三陸の美味しさも含め、岩手県の農畜産物の魅力を精一杯伝えることができるよう気を引き締めていきたいと思っています。

自己改革を周知

3月27日(火)

JA岩手県五連定例記者会見

JAいわてグループは、3月27日(火)に、盛岡市産業会館で、JA岩手県五連定例記者会見を開催しました。平成30年度は、平成28年度から3ヶ年計画で進めている、自己改革の最終年度です。自己改革の成果が問われる、重要な1年となります。同記者会見では、JAグループが一丸となって、自己改革の取り組みを生産者や消費者へ周知し、役職員が常に自己改革の取り組みを意識することを目的に、「JA自己改革」のロゴマークを発表しました。

また、農家組合員の所得増大・農業生産の拡大を最重点課題と位置づけ、担い手支援対策の強化や、買い取り販売の拡大、トータルコストの削減、そして、「純情産地いわて」の生産基盤の維持・拡充を重点取組事項として掲げました。

JA岩手県五連の久保憲雄会長は、「今年度は、『純情産地いわて』を掲げて30周年となることから、より一層消費者から愛されるブランドとなるような取り組みに加え、『2019年ラグビーワールドカップ釜石開催』や『2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会』の食材供給に向けて、生産技術の高度化に積極的に取り組んでいきます。」と述べました。



「JA自己改革」のロゴマークを発表する久保会長

留学生受入家庭へ支援米

4月18日(水)

AFS留学生来所

JA全農いわては、社会貢献活動の一環として、公益財団法人AFS日本協会を通じて、留学生のホストファミリーに、県産ひとめぼれを提供しています。新たに2名の留学生が来日したことから、4月18日(水)に、留学生3名が訪問してくださいました。

来所した留学生は、平成29年8月に来日したネレさん(ドイツ)に加え、平成30年3月24日に県内に到着したばかりのジュリエッタさん(アルゼンチン)とマイヤさん(フィンランド)の3名。3名とも新学期がスタートし、県立高校で勉強に励んでいます。今後も、JA全農いわては、留学生への県産米提供等、日本での生活をサポートしていきます。



肌寒い日が続きますが、心が和らぐようなポカポカと温かい日も出てきました。5月といえば、田植えの時期。目の前に広がる景色に緑がどんどん増えていく様子に、心がワク

ワクします!新入職員10名が各JA研修から戻り、本格的な仕事が始まりました。私も“初心”を忘れず、精一杯仕事に取り組んで参ります。

(佐藤)

県オリジナル水稲品種「金色の風」「銀河のしずく」をPR

3月24日(土)~25日(日)

わんだふおーパーク2018

JA全農いわては、3/24(土)~3/25(日)の2日間、岩手県産業文化センターアピオで開催された“わんだふおーパーク2018”で、県オリジナル水稲品種「金色の風」と「銀河のしずく」のPRを目的に、ブースを出展しました。

ブースでは、コメおに(JA全農いわてキャラクター)や2017いわて純情むすめによる、じゃんけん大会や輪投げ大会を行い、来場者へ「金色の風」「銀河のしずく」のバックごはんセットをプレゼントしました。

また、ステージでは、アンパンマンショーや森口博子さんによるライブが行われ、2日間の来場者数は過去最高の約22,000人(延べ)を記録するなど、大きな賑わいを見せました。



来場者へバックごはんをプレゼントしました



さらなる実績向上へ

3月26日(月)

いわて洗車セミナー2018

岩手県JA-SSチェーンは、3月26日(月)に、盛岡市で、「いわて洗車セミナー2018」を開催しました。参加者は、県内のJA関係者に加え、県外からもご参加頂き、総勢131名の大規模セミナーとなりました。

このセミナーは、洗車アドバイザー「オフィス・ティーズ」代表の塚原直樹氏による講演をはじめ、先進的な取り組みを行い、実績を伸ばしたJA-SSによる事例発表が行われました。新たな取り組みを始めた背景や実践方法、そして、どのような成果が得られたのか等、具体的な発表であり、ノウハウの共有がなされました。

参加者らは、このセミナーで共有した内容を各地域の業務に活かし、さらなるサービス向上を目指します。



さらなるサービス向上に向けて、情報共有が行われました

純情産地いわて

30th

みんながいわての未来を育もう。

2018

いわて純情むすめ

IWATE JUNJO・MUSUME AUDITION

募集



photo: 2017いわて純情むすめ

いわて純情むすめ、30代目はあなたの番です!

2018いわて純情むすめ募集要項

- 応募資格
 - ①2018年7月1日現在で、満18歳以上25歳以下の健康で明るい未婚女性。
 - ※但し、高校生は除く。※未成年者は保護者の同意を必要とします。
 - ②若手県在住で、自薦他薦は問いません。
 - ③業務委託する1年間を通して、県内外で開催するイベント・販売促進活動・メディア出演等各種行事のほか、研修等に曜日問わず参加・協力できる方。
 - ④最終選考および事前研修、認定式へ参加できる方。
 - ⑤純情体験のステージ披露あり。
- 応募方法および募集期間
 - 市販の履歴書用紙が、JA全農いわてホームページ内の応募フォームからご応募できます。
 - 必要事項①身長 ②志望の動機 ③趣味・特技 ④今まで行ったクラブ活動 ⑤自己PR
 - ⑥いわて純情むすめ若手県産畜産物へのイメージ、いわて純情むすめになって行きたい事 ⑦応募を知った広告媒体を必ずご記入の上、3か月以内に撮影した鮮明で加工されていないカラー写真「正面向き」の全身写真・顔写真(顔のはっきり分かるもの、サービス判)それぞれ1枚ずつを添付し、郵送またはご持参ください。
 - 応募書類・写真は原則として返却いたしませんので、予めご了承ください。
- 応募締切 / 2018年5月31日(木) 消印有効
- 募集人員 / 6~7名(予定)
- 審査方法
 - ①第1次選考 書類審査により20名程度を選考。結果は書面にて通知いたします。
 - ②最終選考 面接審査(私服着用)により選考。2018年6月13日(水)
 - ③事前研修 2018年6月21日(木)、22日(金)
 - ④認定式 2018年6月26日(火)
 - ※原則、上記日程に参加できる方
- 賞品
 - ①第1次選考通過者(最終選考出席者) / いわて純情ギフト
 - ②採用決定者 / 正賞 認定証(記念品) 副賞 国内外共通旅行券(10万円相当)・いわて純情ギフト
- 活動期間 2018年7月1日~2019年6月末日
- 日当 当日規定に基づき、業務の都度日当および交通費・宿泊費を支給いたします。

2017いわて純情むすめ 主な活動実績

第1回八幡平畜産共進会(八幡平市)	7/7	JAIいわて平産畜産まつり(平泉町)	11/5
JAIおふくなど野菜出展式(大船渡市)	7/18	一栗ふると夜「冬の夜」(一栗)	11/8
花井農場フェア(鹿沼市)	7/23	第1回いわて産物フェスティバル(中津川)	11/10-13
一栗ふると夜「冬の夜」出展式(一栗市)	7/25	第1回いわて牛産物フェスティバル(東奥)	11/13-14
若中稲穂スタンプラリー(車石町)	8/26	「若手ふるさと祭り」(東奥)	11/25
若中稲穂スタンプラリー(車石町)	8/25-27	「冬はふるさと産物フェア」(盛岡市)	12/3
純情マルシェ(大宮)	9/1-9/2	タイ伝統音楽と舞踏の夜「ロケーション」(ライ)	12/13-17
JAIいわて農中山産物まつり(二戸市)	9/16/17	「冬のフェア」(東奥)	12/16/17
「ふたふた」(鹿沼市)	9/23	第1回いわて牛産物フェスティバル(東奥)	1/25/26
若手県産畜産物フェア(大宮)	9/28/29	第1回いわて牛産物フェスティバル(東奥)	2/21
純情まつり(鹿沼市)	9/30-10/1	わんだふるお〜パーク2018(東奥)	3/24/25
紅いわてアップセール(大板)	9/16/17		
「新ふるさと」(鹿沼市)	10/15		
第1回若手県産畜産物研究会(東奥)	9/28/29		
いわておふくなどフェア(盛岡市)	9/30-10/1		
銀河のしずく出展式(南上市)	10/5		
盛岡市産物まつり(盛岡市)	10/15		
「新ふるさと」フェア(東奥)	10/15-16		
JAI若手ふるさと「JAIまつり」大収穫祭2017(奥州市)	10/15		
りんごトップセールス(大板)	10/17		
いわての味「角」と「角」のまつり(東奥)	10/22		
一栗産物まつり(一栗)	10/29		
金色の風 華納式(平泉町)	11/2		
いわて牛産物フェスティバル(東奥)	11/2-4		



応募先 〒020-8605 若手県盛岡市大通一丁目2番1号 サンビル4F
 郵送持参 JA全農いわて総合企画課「2018いわて純情むすめ」募集係宛

応募フォーム JA全農いわてホームページ内「2018いわて純情むすめ」応募フォーム
<https://www.junjo.jp/> JA全農いわて

活動の様子はこちらから ▶ **いわて純情むすめFacebook**
 ①Facebookの検索窓で「いわて純情むすめ」を検索 ②右記より「いわて純情むすめ」Facebookへ



JA全農いわて お問い合わせ先 〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号サンビル4F
 JA全農いわて 管理部 総合企画課「2018いわて純情むすめ」募集係 | TEL.019-626-8615

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く) **全農**



私たち全農グループは、**生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋**になります。

- 私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
 - 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
 - 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 総合企画課 〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
 JA 全農いわて ホームページ <http://www.junjo.jp>

